



No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針		
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1			
9	継続	仙台歯科医師会	-	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などの食事指導	各歯科校医や嘱託歯科医が担当校にて実施	通年			○	○							○	○	
10	継続	仙台歯科医師会	-	支援学校での摂食指導	児童・保護者・職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	鶴谷特別支援学校(6月20日)	通年			○	○							○	○	
11	継続	仙台歯科医師会	-	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活について啓発	R5年度、参加要請なし	R6年度、参加要請なし			○	○							○	○	
12	継続	仙台歯科医師会	-	フッ化物歯面塗布助成事業	乳幼児	乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年で実施 R5年度受診率45.7%	通年で実施			○	○								○	
13	継続	仙台歯科医師会	-	口腔機能低下症に関する学術講演	歯科医師及び関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	実績なし	現在検討中			○	○	○						○	○	
14	継続	仙台歯科医師会	-	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	コロナ禍により中止	本年度、再開にむけて関係団体と調整中				○	○	○					○	○	
15	継続	仙台歯科医師会	-	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	R5年度、参加要請なし	各地区の区民祭り等の再開に呼応して、地域地区班の会員歯科医師から再開の希望が届いている。地域の歯科医師・行政と連携して実施に向けて準備に入っている。				○	○	○					○	○	
16	継続	仙台歯科医師会	-	むし歯予防（特に6歳臼歯について）と生活習慣についてのDVD配布とWEB公開【新規】	園児・児童とその親	NPOSENDAI子育て応援隊ピンポンパン☆が演じる6歳臼歯を題材とした小学校低学年向けむし歯予防と生活習慣の人形劇を撮影編集しDVDを作成し、市内小学校・児童館・保健センターに配布し、仙台歯科医師会HPにて公開する。	200枚作成 市内小学校・児童館・保健センターに配布	予定なし				○	○							○	
17	継続	仙台歯科医師会	市民のつどい実行委員会	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催	一般市民	【市民のつどい実行委員会】 ・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の働き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日から10月末までサイトの公開 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudoi">https://s-da.or.jp/shimin-tudoi</a>	令和6年度は4年ぶりの実開催を行った。実行委員会各主体が市民啓発を体験コーナーを中心として実施した。食育の分野では特に宮城県栄養士会から子どもから高齢者までライフステージに応じた栄養に関する啓発をおこなった。また、オーラルフレイルに関連付けて舌圧測定や咬合力の検査なども体験してもらった。市民公開講座では現在問題となっている子どものお口ぼかん（口腔機能発達不全）やオーラルフレイルに関する講演を実施した。また、6月4日から10月末までWEB版として公開している。 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudoi">https://s-da.or.jp/shimin-tudoi</a>	○	○	○	○						○	○	○	
18	新規	仙台歯科医師会	仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議ハロープロジェクト部会	ハロープロジェクト	青年層	健康について忙しい壮年期・豊かな高齢期を健康に迎える習慣習得のためには青年期からの歯と口の健康づくりが重要である。そのために当事者である大学生などの20～30歳代をその活動の主体として歯と口の健康啓発活動を行っていくプロジェクトである。東北大学・仙台市・仙台歯科医師会の協働プロジェクトである。	啓発活動の要となる啓発媒体の作成を行った。具体的にはデンタルフロスをつけたリーフレットを作成し、一部配布を行った。	啓発媒体であるリーフレットを作成し春の検診や学園祭を中心に配布・啓発活動を行う予定である。また特定の集団を選定し経時的に行動変容が起こるかを検討する。さらに同事業の高等学校への展開も模索中である。				○						○	○	○	○





No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点										★推進方針							
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ					
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1								
36	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	偏食を減らすための取り組み	園児	・食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ること で食事に対して関心が深まるようにする。 ・意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。	○	○		○	○	○	○											
37	継続	仙台市私立幼稚園連合会	めるへの森幼稚園・みやぎ幼稚園	食べることが楽しくなる食育	園児	・作物を栽培、収穫し食べる体験	左記の事業内容の通り実施した。	西多田幼稚園・ふくだまち幼稚園で実施する。	○	○	○	○	○													
38	継続	仙台市保育所連合会	-	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所等 入所児童と保護者	・保育所等の給食だより・保育参観での働きかけを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣や食文化等についての情報を発信する。	通年実施	通年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等についての理解を深め、施設での実践に繋げる。	「小児の身体機能の発達と食行動について」 「小児の肥満について」 9月21日実施 参加者数175名	「小児の身体機能の発達と食行動について part2」 「災害への備えと発災時の対応」 7月2日実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会給食担当者研修会	調理員・栄養士	・乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等についての理解を深め、施設での実践に繋げる。	「食物アレルギーについて」 9月5日実施 参加者数149名	8月8日実施予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会給食会研究委員会	栄養士	・研究テーマを設け、乳幼児の食育に関する研究・発表に取り組む。	「ステップアップあさごはん！3」 ～朝食の質の向上を目指して～	通年実施中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	継続	仙台市PTA協議会	-	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	・親子料理教室等の開催 ・給食試食会 ・栄養士さんの講話 ・ミニ菜園づくり など			○	○		○	○		○	○								○		
43	継続	仙台市PTA協議会	-	地域行事での食育	小・中学生	・田植えや収穫などの農業体験活動							○	○	○	○										
44	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいぶらんど商品を使ったアイデアを募集し、ホームページで紹介する。	2023年度は実施しませんでした。													○	○	○	○	○	○	
45	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶらんど商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	11月末現在 8回のべ113名参加													○	○	○	○	○	○	
46	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農業について生産者や専門家の話を聞き自分たちの食生活をみなおす。2023年度は畜産をテーマに。	・9/21映画「希望の給食食と農がつむぐ自治と民主主義」上映会1回 参加15名 ・10/10バレスチナオリブオイル学習会、参加20名													○	○	○	○	○	○	









No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R5年度実績	R6年度計画	★推進の視点											★推進方針						
		団体	実施主体【任意】						1 健康				2 食文化		3 環境			4その他	ア	イ	ウ					
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1								
78	継続	宮城大学	宮城大学食産業学群	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育関連の授業や研究室ゼミを通して、食に関する知識を提供して意識を高め、学生が自分自身の食生活を見直し、改善することを促す。	2年生：年5回、約100名 3・4年生：月3回、10名程度	2年生：年5回、約100名 3・4年生：月3回、10名程度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	継続	宮城大学	-	高齢者の地域の共食の場を創出等による生涯を通じた食育の推進	高齢者	地域課題として高齢者を対象とした生涯を通じた食育を推進することが重要である。宮城大学（食産業学群）では、近隣地区の町内会等と連携して、共食、フレイル予防、農業体験、地域の食文化の維持継承を組み合わせた地域ぐるみの取り組みを行う。	太白区人來田学区町内会の高齢者：年10回、200名程度	太白区人來田学区町内会の高齢者：年6回、100名程度											○	○	○					
80	継続	仙台市医師会、仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、仙台市小学校長会、仙台市私立幼稚園連合会、仙台市保育所連合会、仙台市PA協議会、宮城県生活協同組合連合会、みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、仙台農業協同組合、仙台白百合女子大学、宮城大学	-	仙台市食育推進ロゴマークの活用	一般市民	関係団体および市内関係各課において、食育推進に関わる事業において、仙台市食育推進ロゴマークを活用し、周知する。	【仙台市小学校長会】 毎月の「学校給食献立表」や「給食だより」「研修資料」等にロゴマークを掲載し、保護者・関係者に周知した。  【仙台市保育所連合会】 随時活用	【宮城県栄養士会】 今後、活用を検討  【仙台市小学校長会】 毎月の「学校給食献立表」や「給食だより」「研修資料」等にロゴマークを掲載し、保護者・関係者に周知  【仙台市保育所連合会】 随時活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							